



ながやま こうたろう
建設事業部 工務課 係長 **永山 耕太郎**

2012年、株式会社トータルハウジングに中途入社した永山耕太郎。義理の妹がトータルハウジングで新居を建てていたのが応募のきっかけだ。建物の価値を積算する業務に就いていた前職とは異なり、一から家を建てる工程や、お客様から直接伝えられる感謝の言葉にやりがいを感じている。「十分に意思疎通が図れた方は、お客様というより、一緒に家を造り上げた仲間のように思えます」と語る永山に、これまでの経験や信条について話を聞いた。

夢の家を探り出せ

入社して以来、現場監督を務めている永山。10年間で分かったのは、家づくりにおいては信頼関係を築くコミュニケーションが最重要課題であるということだ。

「ただモノをつくれればいいというわけではなく、どこまで理

想と現実を近づけられるかが肝心です」。

お客様の多くは、頭の中に理想の家を持っている。庭には子どもと遊べるウッドデッキ、仕事のしやすい間取りにして、スキップフロアに興味のスペースも確保したい……といったふうに、求める要素は人それぞれ。だが、それらが全てミリ単位で決まっているかというところ、決してそうではない。自分すら把握していないような曖昧なイメージもあれば、家庭内で意見が食い違う場合もある。

話の中から細かなニュアンスを汲みとるためには、以心伝心の関係づくりが欠かせない。そのためにはまず、簡潔に分かりやすく説明し、反応を見て冗談を交えるなどリラックスした雰囲気にするよう努める。飲食をともにするのも効果的だ。あえて家づくりとは直接関係のない時間を共有し、対話を重ねることで相互理解が深まっていくのである。

み隠さず話している。

「トータルハウジングの魅力は、会社だけでなく人も成長するところ。建設業のスキルが身につくだけでなく、人として一回り大きくなれます」。

己自身も磨きながら、後進の育成にも気を配る。自分たちの経験を次世代へ伝えていくため、そしてお客様の理想の家づくりのため、永山はこれからも走り続けていく。

10センチの後悔

お客様の本心を汲みとらず、安易に告げられた通り施工すると、思わぬ悲劇が待ち受けている可能性がある。例えば「1メートルくらいの高さで」と言われたとする。果たしてこのときの正解は何センチだろうか。

永山の場合は、ほんの小さな棚だった。あるお客様の要望は、お気に入りの物を飾るために30センチ幅の棚を取り付けたいというもの。しかし、お客様の持ち物を測ってみると35センチ。そのままでは収まらないため、確認せず40センチの棚に変更して取りつけた。だが、出来上がりを見たお客様の言葉に、永山はショックを受ける。

「棚に入らないなら、もっと小さい物に変えればいいだけの話。これではイメージと違う」。相手に喜ばれるはずと思っ

十分な意思疎通が図れていなかったため、変更前の確認をためらった結果だった。もし関係を深められていれば、もっと気軽に聞けたはず。丹念な確認やコミュニケーションの大切さを、改めて肝に銘じた出来事だった。

正解はお客様の数だけ存在する

この一件で落ち込んだ永山を誘って話を聞いてくれたのは、会社の仲間たちだった。吉報があれば一緒に喜び、失敗した際はお互いに励まし合える、ありがたい存在だ。おかげで、徐々に気持ちを切り替えることができた。

仲間のありがたみはそれだけではない。教え合った失敗事例についての知識は、成功例を学ぶことと同等か、それ以上に意義がある。なぜなら、無数の選択肢から正しい答えを選ぶとる大きな助けとなるからだ。

「1メートルくらい」と言われた場合の正解は、95センチかもしれないし、1メートル10センチかもしれない。お客様の数だけ正解があり、理想の形がある。それを突き止めるのが永山の仕事であり、腕の見せどころなのだ。ニュアンスが分かるほどの間柄になれば、お客様からも感謝が返ってくる。

『大事に使っていきます』と言ってもらえたときが、一番嬉しかったですね。『せっかく建ててもらったのだから、今のきれいな状態を維持していきたい。何かあったらすぐ電話します』と」。

それは胸に染みる報酬であるとともに、確かな信頼の証だ。

人として成長できる会社

今後の目標は、部下が少しでも早く一人前になれるよう育てていくこと。同じ轍を踏んでほしくないと願い、失敗談も包



表紙掲載者

へのメッセージ

～永山さん編～



建設事業部工務課
課長

なかにし まさる
中西 勝さん

永山さんへの
メッセージ

永山さんとのご関係

上司と部下の関係です。彼が入社してきたときから一緒に仕事をしています。

永山さんはどのような存在ですか？

1番信頼できる存在です。問題意識が高く、現場の進捗だけでなく、後輩の成長に関してもたくさん気にかけてくれる、面倒見の良い社員です。

永山さんとの思い出を教えてください

同じ中途で入社して、歳も近いこともあり、お互いに支え合ってきました。たくさんの思い出がありここでは話さきれません(笑)

あっという間に時が経ち、気づけば長い付き合いになりましたね。これからもともに頑張っていきましょう！

永山さんとのご関係

永山さんは私の上司です。お互い担当現場を持ち、それぞれ管理しているのですが、分からないことがあれば永山さんに訊きながら業務にあたっています。

永山さんとの思い出を教えてください

2020年に、2級建築士の試験を受けるため一緒に学校に通い勉強していました。試験の後、昼間から2人でお酒を飲みに行ったのですが、永山さんの「試験の結果はどうなるかわからないけど、とりあえず一旦忘れて仕事を頑張っていこう」という言葉で和んだことを覚えています。普段から食事に連れて行っていただくこともあり、お父さんのような存在です。ちなみに永山さんは合格、私は再チャレンジとなりました。

いつも忙しい中指導してくださってありがとうございます。来年こそ一緒に一級建築士を取りに行きましょう！

永山さんへの
メッセージ

いつも周りを気かけ、真面目に仕事をする永山さん。永山さんをよく知る2名の方より、エピソードを交えてお話しいただきました！

いつもありがとう！

永山さんの尊敬できるところ

自分に厳しく、努力を怠らないところです。確実に仕事をしてくれるので、上司として安心して仕事を任せることができます。現在は現場管理を担当していますが、期日に遅れたり、失敗したりすることがありません。工事のスケジュールや予算においてもマメに気にかけており、お客様からも高く評価していただいております。会社に対しても貢献度が高く、模範社員と言えるでしょう。

永山さんの尊敬できるところ

永山さんは、トラブルを予測し回避しながら現場を管理されるので、お客様からのアンケートでも、「丁寧に対応をしてもらえた」「色々な要望に応えてくれた」と評価が高く、信頼されているということがよく分かります。業者さんともしっかりとコミュニケーションが取れているので、見習っていききたいと思います。

永山さんの一日に密着！

他の人の時間の使い方を知ることは、自分の仕事の効率を改めて見つめ直すきっかけにもなると思います。また、休日の過ごし方からは、永山さんの新しい一面が知れるかも……？

建設事業部 工務課
係長

ながやま こうたろう
永山 耕太郎さん

ON ～お仕事編～

6:00 起床

必ず最初に歯磨き、白湯を飲みます。天気予報と鹿児島県のコロナ情報を確認して、朝ごはんを食べます。

7:50 出社

会社に行ったら、パソコンを立ち上げてメールチェックから始めます。その後予定を確認。メールや電話の内容処理、業者さんの段取りをします。お客様との打ち合わせが入っていたら、そちらを優先します。

10:00 時間があるときは、図面チェック。

電話やメールの対応に追われているときは、図面チェックは午後に後回しです。

12:00 昼休憩

13:00 午前中の延長で、図面を描いたり、現場の段取りをチェックします。

現場に足を運んで現場を確認したり、注文作業をすることもあります。

17:00 部下の報告を受け、さらに課長に報告します。

17:30 退社

OFF ～休日編～

6:00 起床

前日の夜に飲まなければ、この時間。羽鳥さんの番組『グッドモーニングショー』を観ます。

休日は、家族サービスに徹します！3人の子どものうち2人は高校生で、ほっといてオーラがでているので(笑)、小学5年の子とも遊びます。



12:00 昼食

午後も家族と過ごします。

19:00 夕食

家族みんなで揃ってご飯。家族団らんの時間です。

そのあとは、お風呂に入って、ゆっくりテレビタイム。スマホでヤフーニュースをチェックします。

22:00 就寝

仕事をする中で気をつけているポイント

確認作業を怠らないこと。昔、間違った書類を提出したことがあります。そのときにある人に言われたのは、「チェックは最低3回したほうがいい」ということ。たしかに、その人のミスは少なかったので、確認作業が大事だと学びました。

永山さん、ありがとうございました！

仕事の集中が切れそうなときは、5分だけ休憩！甘いものをつまんだり、水を飲んだりして、気持ちを入れ直して集中します！

